

北海道真狩高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和3年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	地域の特性を生かし、教育資源を活用することにより「有機農業コース」と「野菜製菓」コースの充実、発展を図ります。	B	育成したい生徒像を明確化し、「身につけたい資質・能力」を意識した教育課程の編成を推進します。
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	インバウンドをいかした生徒の英語教育における実践機会を提供します。	A	英語教育の実践機会として英語表記のPOP制作を行い、インバウンド向け販売会を実施します。
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	講演会や先進地視察を含めた担い手研修を実施します。	A	農業改良普及員や指導農業士、菓子製造業者など専門機関による出前授業や研修を実施します。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	日頃の学習を生かし、プロジェクト活動では地域をふまえた課題設定をし、関係機関と連携した専門教育を推進します。	A	分会活動での連携活動を推進します。 スマート農業やICTを活用した農場運営を行います。
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	安全・安心な農産物・加工品の生産・製造により地域への発展力を高めます。	A	GAP教育の充実を図ることで、高品質な農産物を生産します。 有機JAS農産物の付加価値を生かした販売に取り組みます。 HACCPの考えを取り入れた衛生管理に取り組みます。
	⑥「食農」教育を推進します。	農業教育をととして食べ物を無駄にしない指導を徹底します。	A	学校給食残食0を目指します。 食材の有効活用を考えた地域連携学習に取り組みます。
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	地域企業・関連団体と連携して大豆100粒運動を実施します。	A	1年生全員がジュニア豆腐マイスターを取得します。
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	村立学校の特色をいかし、保・小・中との連携学習をととして、農業教育活動を地域に広めます。	A	実習農場を活用し、生産、加工、流通までの食育学習に取り組みます。
V 地域防災を推進する学校	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	専門学校とのダブルスクールをととして、加工技術の向上を目指します。	A	加工技術を生かしたコンテスト出品を年3回行います。 製菓衛生師試験100%合格を目指します。
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	危険物取扱や普通救命講習の資格取得を推奨します。 防災意識を高め、各施設、設備、車輛等の点検・管理に努め、生徒の安全教育を推進します。	A	1年生の危険物取扱免許取得率60%を目指します。 普通救命講習を実施します。 危機管理マニュアルの再確認と周知を徹底します。